



令和三年から四年へ、 たすきりレーするもの

校長 手代木 英明

令和三年の漢字は、京都の清水寺で「金」と発表されました。東京オリンピック・パラリンピックで、日本人選手が多数の「金」メダルを取ったことや、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成など各界で「金」字塔を打ち立てたことなどが理由としてあげられました。

神宮前小の「金」は、子供たちです。スポーツデー、オータム・コンサートや渋谷タブレットの日、日程を変更して実施した宿泊学習六年日光高原学園、五年河津自然体験教室、四年御殿場移動教室、毎日の学習活動、タブレット学習、プログラミング教室など子供たちが輝いていました。そして、地域・保護者の皆様の応援で子供たちの金メダルは更に輝きを増しました。正月の箱根駅伝では渋谷区の青山学院大学が圧勝しました。そこには、

練習で培ったチームの強い絆がありました。私たちチーム神宮前小は「主体性」「対話力」「深く考える」のたすきをつないで令和四年も子供たちが輝く年にしていきます。今年もよろしくお願いいたします。

雪化粧の富士山と山中湖 四年御殿場移動教室

昨年十二月二十二日～二十三日、四年生は御殿場移動教室に行つて



明神山頂からの富士山



上: キャンドルサービス
下: 食事はバイキング

きました。東京からは小さく見える富士山も御殿場では両手を広げた幅よりも大きく見えました。国立中央青少年交流の家に着いて最初の活動は「ネイチャービジュアルオリエンテーリング」東京ドーム三・八倍の敷地をクイズの問題を解きながら歩きました。夜は、キャンドルサービス。ろうそくの炎をじっくりと眺めながらこれまでの自分の生活を振り返り、これからの自分について考えた後は、ゲームとダンスで盛り上がりました。

二日目はハイキング。例年の宿泊学習では見るのできない美しい富士山を眺めながら登り、明神山山頂では、標高日本一の富士山。二位の北岳、三位の間ノ岳がくっきりと見えました。

当初九月に予定されていた移動教室ですが、コロナ緊急事態宣言で延期され、冬の実施となりました。宿泊地・内容を変更するにあたり、実地踏査のやり直しとPTAの協力を得て実現しました。

全校児童が輪番で昇降口に立ち、毎朝挨拶をする「挨拶隊」も二回目に入りました。しかし、中には、目を合わせるだけでそのまま通り過ぎる子、うなずくだけの子もいます。担任以外の先生や主事さん、警備さんに挨拶をすることを躊躇してしまう様子も見られます。小さなアクションを認めつつ、相手を意識した挨拶ができるよう、粘り強く声を掛けていきます。

(生活指導部)

一月の生活指導
「心を込めて元氣よく
返事や挨拶をしよう」

仕事納め、仕事始めの職員室には、年末年始の挨拶が交わされ、穏やかな雰囲気が出ていました。冬休み中、各家庭での様子はいかがでしたでしょうか。子供たちの手本となるべく、私たち周りの大人が、気持ちよく挨拶を交わしている姿を見せることは、とても大切です。「挨拶をしましょう」と言葉で指導することも大切ですが、教職員同士はもちろん、保護者同士、ご家庭内で自然と挨拶を交わしている姿を見ることで、子供たちに挨拶の習慣が身に付いていきます。